

特別支援教室だより

令和6年 2月 29日
巡回拠点大杉東小学校
特別支援教室通信
令和5年度 No.11

【 今回のテーマ 】

家庭学習中に、違うことに気が逸れてしまう子

【 こんなことが考えられます 】

○ 家庭学習を終わらせたい気持ちはある でも・・・

- ・テレビの音や家族の話し声、目に入った漫画やゲームに注意が逸れてしまう。
- ・同時に作業をすることが苦手なため、1度注意が逸れると戻るのが難しい。

【 できることはなんでしょう 】

○ 逸らさせない工夫

「環境を整える」

目や耳からの刺激に敏感な子の場合、テレビを消す、机の周りを整頓する、机の正面を壁にする等で刺激の減少が期待できます。もしくは、イヤーマフを付けたり、イヤホンで本人が集中できる音楽を聴いたりするのもよいかもしれません。

「声をかける」

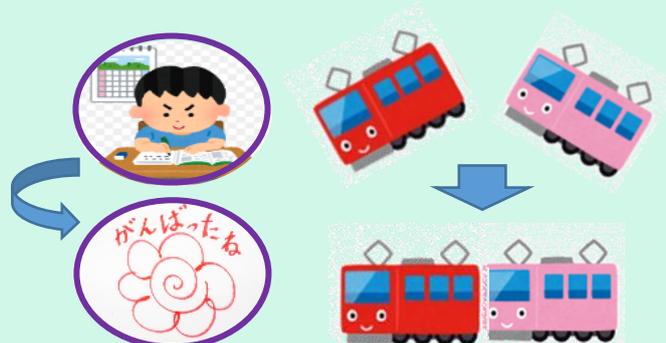
「この字上手に書けているね。」「えっ、あと半分？早いね。」等、前向きな声をかけることで、集中が持続する場合があります。

※声をかけてしまうことで、逆に集中が切れてしまう子もいるので、お子さんの様子や状況に応じて行います。

○ 逸れた気持ちを戻す工夫

「やることやできたことの見える化」

声をかけると、「今やろうとしていたのに、言われるとやる気を無くす。」と意欲が低下する子もいます。声をかけるよりも、見せる方が意欲を向上させる場合があります。



終わったらひっくり返す。
終わったら電車が連結する。

本校には5名の巡回指導教員がおります。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」のバックナンバーも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら 

